

日本の主な火山活動

全国の火山の概況

三宅島では小規模な噴火があった。多量の火山ガスの放出が継続し、噴煙活動は依然活発である。桜島で噴火・爆発があった。諏訪之瀬島で爆発があった。

図 1 以下には噴火をした火山 ()、観測データ等に变化のあった火山 () を示す。

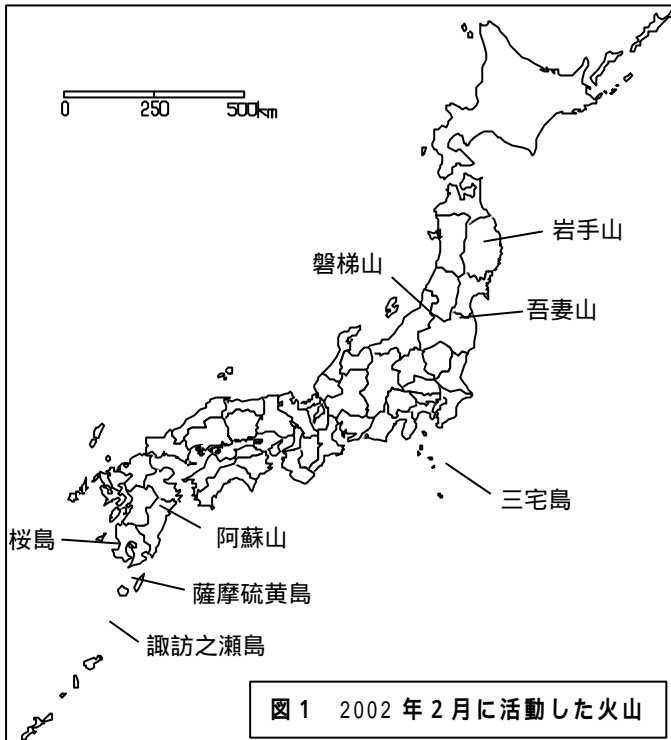


図 1 2002 年 2 月に活動した火山

表 1 過去 1 年間に活動した火山

火山名	2001												2002	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
雌阿寒岳														
十勝岳														
樽前山														
有珠山														
岩手山														
吾妻山														
安達太良山														
磐梯山														
那須岳														
日光白根山														
浅間山														
新潟焼山														
富士山														
箱根山														
伊豆大島														
三宅島														
噴火浅根														
硫黄島														
北福徳堆														
福徳岡ノ場														
九重山														
阿蘇山														
桜島														
薩摩硫黄島														
諏訪之瀬														

各火山の活動概況

本文の火山名の後の [噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等] は、掲載した理由となった火山現象を示す。

岩手山 [噴気・地震]

地震活動は続いているが、比較的静穏であった。

地震回数 (東北大学松川観測点) は 1 日当たり 0 ~ 4 回で、月回数は 35 回 (1 月 65 回) であった (図 2)。

岩手山東側のやや深いところ (深さ 10km 前後) を震源とする低周波地震は発生しなかった (1 月 19 回)。震源がモホ面付近 (深さ 30km 前後) とみられる低周波地震は 10 回発生した (1 月 2 回)。

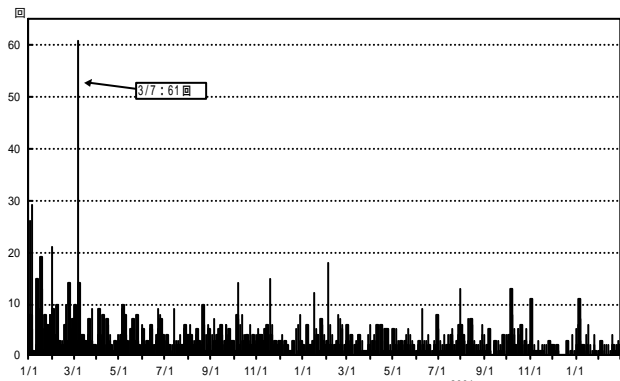


図 2 岩手山 日別地震回数 (2000 年 1 月 ~ 2002 年 2 月)

火山性微動は発生しなかった (1 月 4 回)。

遠望観測 (監視カメラ) では、黒倉山山頂の噴気の高さの最高は 3 日に 300m を観測した (1 月の最高 200m)。13 日に岩手県、陸上自衛隊の協力により行った上空からの観測では、噴気・地熱地帯の状況に大きな変化は見られなかった。

吾妻山 [地震]

地震活動は前月に較べやや低下したが、継続している。

地震回数は、1 日当たり 0 ~ 11 回で月回数は 60 回 (1 月 195 回) であった (図 3)。そのうち山体直下の浅いところが震源とみられる低周波地震 (1 月 2 回)、震源がモホ面付近 (深さ 30km 前後) とみられる低周波地震 (1 月 9 回) はいずれも発生しなかった。

火山性微動は発生しなかった (1 月なし)。

遠望観測では、噴気は確認されなかった。

4 日、国土交通省東北地方整備局の協力により行った上空からの観測では、噴気の状態に大きな変化はなかった。

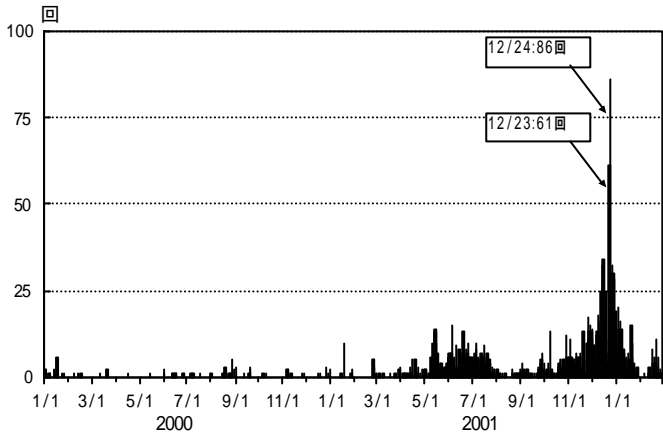


図3 吾妻山 日別地震回数
(2000年1月~2002年2月)

磐梯山 [地震・微動]

地震活動が継続している。

地震回数は1日当たり0~4回で、月回数は25回(1月13回)であった(図4)。山体直下の浅いところを震源とする低周波地震(1月1回)、震源がモホ面付近(深さ30km前後)とみられる低周波地震(1月1回)はいずれも発生しなかった。

火山性微動は8日1回(継続時間44秒)、17日2回(継続時間42秒と48秒)、28日1回(継続時間40秒)の計4回発生した(1月2回)。

遠望観測では、火口壁(Y-2)の噴気は観測されなかった。

4日、国土交通省東北地方整備局の協力により行った上空からの観測では、噴気の状態に大きな変化はなかった。

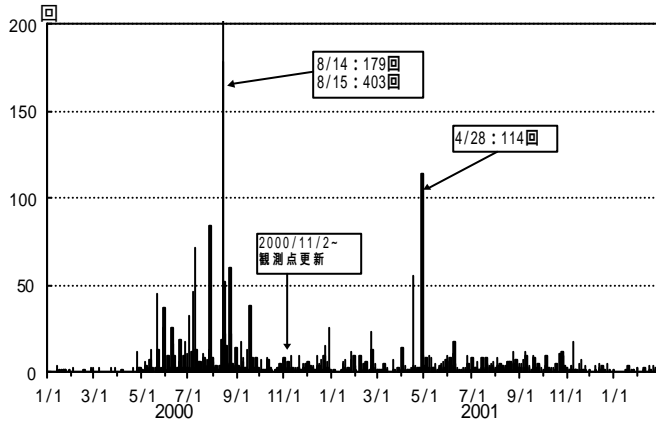


図4 磐梯山 日別地震回数
(2000年1月~2002年2月)

三宅島 [火山ガス・噴煙・降灰・微動・熱・地殻変動]

小規模な噴火が発生した。山頂火口からは多量の火山ガスの放出が継続し、噴煙活動は依然活発である。

21日17時37分頃に、小規模な噴火が発生した。灰白色の噴煙が火口上300mまで上がり、島の東側(サタド一岬付近)で降灰を確認した。17時36分に、空振を伴った、振幅の小さな微動が発生しており、これに伴い小規模な噴火が発生したものと推定される。有色噴煙の確

認は1月23日以来である。水蒸気を中心とする白色の噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、噴煙の高さの最高は火口上1,700m(14日)であった。

期間中、振動の小さい微動がやや多い状態が続き、なかには空振を伴う微動もあったが、21日17時57分の噴火を除き、噴煙の状況等に変化はなかった。

連続的に発生している火山性微動は、振幅が小さい状態が続いている。

GPS観測では、三宅島の収縮を示す地殻変動はわずかながら継続、ないしほぼ停滞している。

6、14、27日に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測*では、主火口からの白色噴煙の放出は継続し、火山ガスを含む青白い噴煙が火口上空から風下に流れていた。山体の地形、火口の状況等に、大きな変化はなかった。主火口からの噴煙の温度は依然高い状態であり、上空から行った赤外熱映像装置による観測では、火口内温度の最高は462(1月310)であった。また、同時に気象庁が行った上空からの二酸化硫黄の放出量の観測*では、約7,000~17,000トン/日(1月約5,000~30,000トン/日)と、依然高いレベルの放出が継続している。(以上図5)

*海上自衛隊、航空自衛隊、警視庁の協力による。

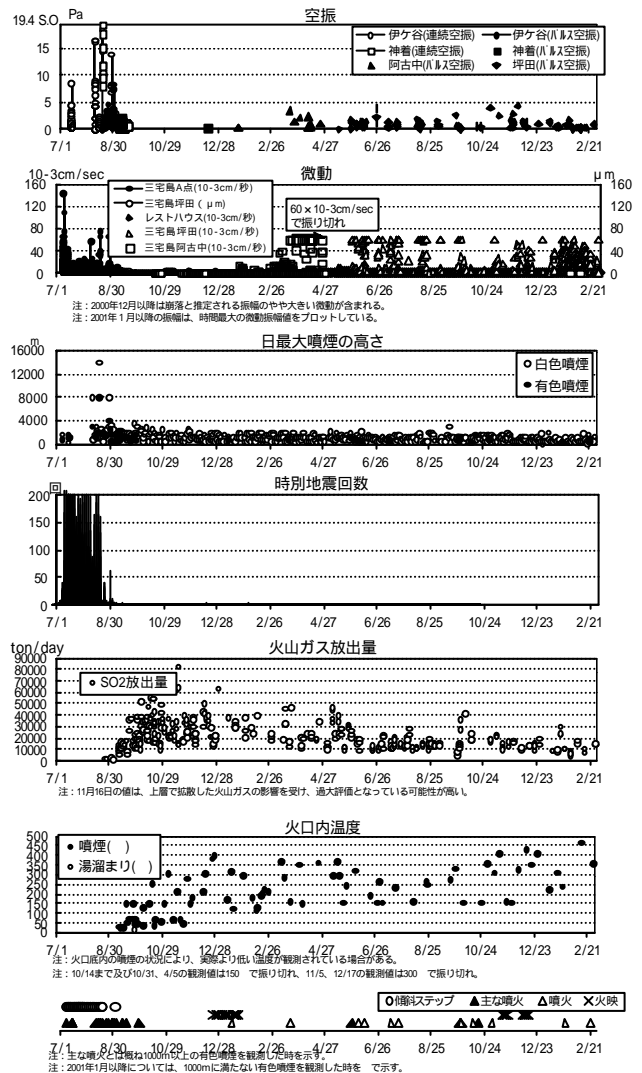


図5 三宅島 火山活動経過図
(2000年7月~2002年2月)

阿蘇山 [熱・微動]

火口壁の赤熱現象が継続した。

2000 年 11 月から確認されている中岳第一火口の南側火口壁の一部の赤熱現象は、今期間も引き続き観測された。赤外放射温度計による観測では、火口壁の温度は 210~248 (1月 226) で、高温の状態が続いている。

火口内は依然として全面湯だまりの状態が続いている。湯だまりの表面は乳緑色で、湯量は減少傾向が続いている。湯だまりの温度は 52~56 (1月 53) であった。南側火口壁下の湯だまりは干上がっており、噴気孔が見られる状態であった。(以上図 6)

地震回数は少ない状態が続いており、月回数は 59 回 (1月 38 回) であった。

孤立型微動は引き続き少ない状態で推移し、月回数は 18 回 (1月 9 回) であった。

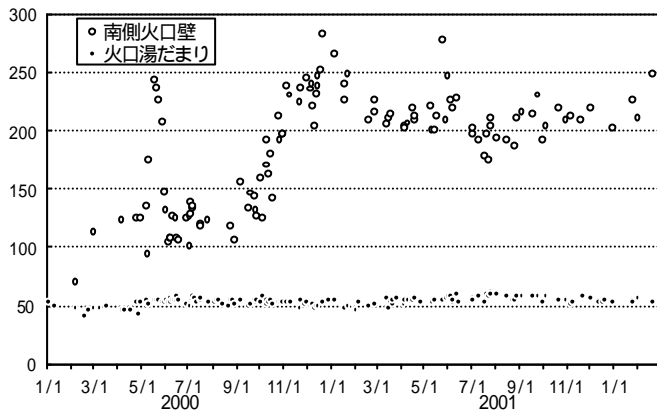


図 6 阿蘇山中岳第一火口南側火口壁及び湯溜まりの温度 (2000 年 1 月~2002 年 2 月)

桜島 [噴煙・空振・噴石・降灰]

依然噴火活動が継続している。

噴火の月回数は 5 回 (1月 5 回) で、すべて爆発であった (1月 4 回)。そのうち、体感空振を 1 回 (小*) 観測した。噴石、爆発音等はなかった。火口縁からの噴煙の高さの最高は 1000m (1月 500m) であった。

鹿児島地方気象台では、今期間降灰は確認していない (1月は降灰期間 1 日、降灰量 1 g/m²)。 (以上図 7)

*小: 注意深くしていれば感じる程度。

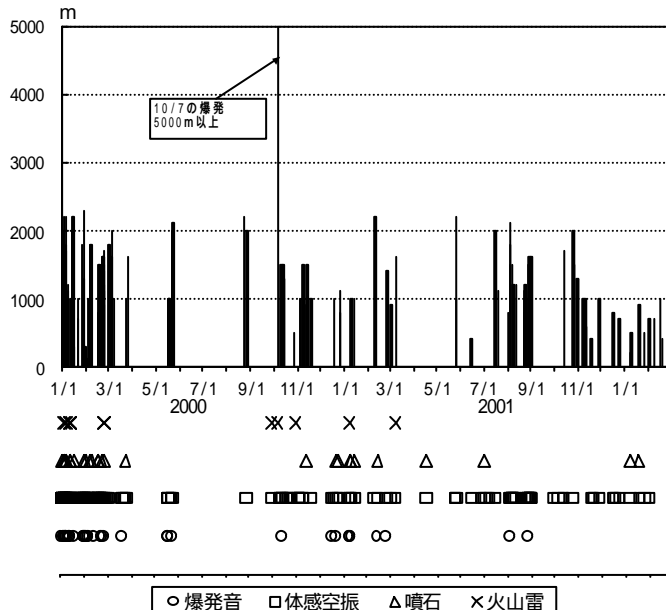


図 7 桜島の爆発時の噴煙の高さ及び爆発に伴う現象 (2000 年 1 月~2002 年 1 月)

薩摩硫黄島 [地震]

活発な地震活動が継続している。

規模の小さな地震は依然として多い状態であり、地震回数は 1 日当たり 70~122 回で、月回数は 2,708 回 (1月 2,963 回) であった (図 8)。

火山性微動は発生しなかった (1月 4 回)。

三島村役場によると島内で降灰は確認されなかった。

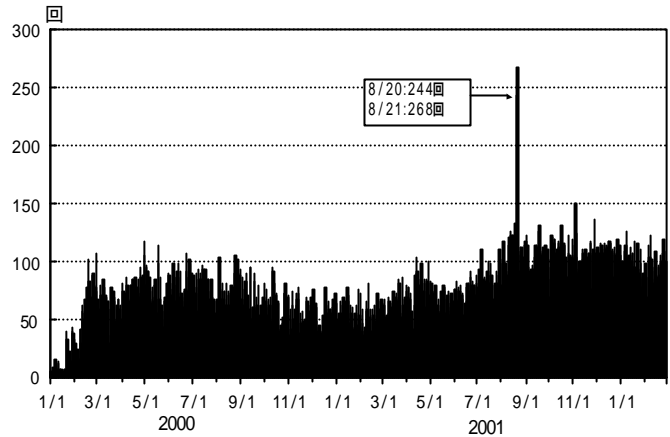


図 8 薩摩硫黄島 日別地震回数 (2000 年 1 月~2001 年 2 月)

諏訪之瀬島 [微動・空振]

噴火が発生した。連続的な火山性微動、噴火に伴う空振を観測した。

28 日 19 時 28 分から連続的な火山性微動を観測し、同日 19 時 30 分頃から 20 時頃にかけて、噴火に伴う空振を観測した。

十島村役場によると、噴煙の状況は雲による視界不良のため不明であった。また、島内で降灰は確認されなかった。

*: この活動は 3 月に入っても継続し、3 月 5 日までに 31 回の爆発を観測した。

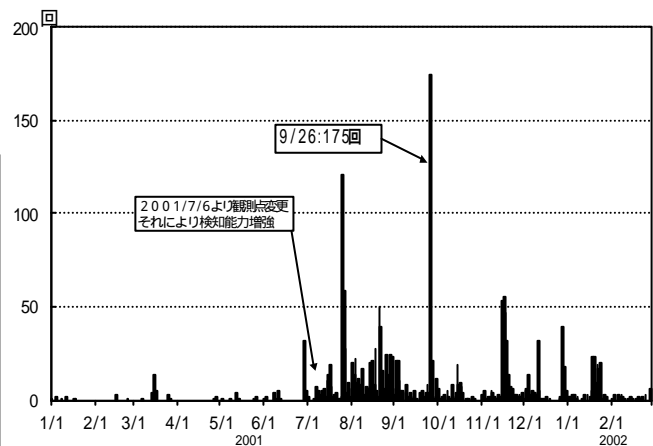


図 9 諏訪之瀬島 日別地震回数 (2001 年 1 月~2002 年 2 月)

表 2 2002 年 2 月の火山情報発表状況（定期火山情報を除く）

火山名	火山情報名	発表日時	発表官署	概要
岩手山	火山観測情報第 2 号	4 日 10 時 00 分	盛岡地方気象台	火山噴火予知連絡会検討結果 地震・噴気の状態、上空からの観測結果
	火山観測情報第 3 号	19 日 14 時 00 分		
吾妻山	火山観測情報第 1 号	4 日 13 時 00 分	福島地方気象台	火山噴火予知連絡会検討結果
磐梯山	火山観測情報第 3 号	4 日 13 時 00 分	若松測候所	火山噴火予知連絡会検討結果 地震・噴気の状態、上空からの観測結果
	火山観測情報第 4 号	22 日 13 時 30 分		
三宅島	火山観測情報第 60 号	1 日 09 時 30 分	気象庁地震火山部・三宅島測候所	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状態、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想 第 62 号は火山噴火予知連絡会統一見解
	火山観測情報第 61 号	1 日 16 時 30 分		
	火山観測情報第 62 号	1 日 18 時 40 分		
	火山観測情報第 63 号 (1 日 2 回発表)	2 日 09 時 30 分		
	火山観測情報第 116 号	28 日 16 時 30 分		
諏訪之瀬島	火山観測情報第 2 号	25 日 14 時 00 分	鹿児島地方気象台	地震・微動の状態